



# 令和7年度 健康経営宣言



～ 従業員の健康維持・増進に積極的に取り組み 働きやすい職場づくりを目指します ～

## ①従業員の健康課題の把握と対策の検討

- ・定期健康診断受診率100%  
⇒現在定期健診の受診率は100%だが、再検査受診率についても100%を目指す。
- ・ストレスチェックの実施  
⇒年1回の実施を継続して行う。  
高ストレス者については、希望者に医師面談を実施。

## ②健康経営の実践に向けた基礎的な土台づくり

- ・適切な働き方実現に向けた取り組み  
⇒家庭の事情による休暇(育児休暇・介護休暇など)を取得しやすい職場づくりを行うことで、従業員の仕事と家庭生活の両立を図る。
- ・コミュニケーションの促進に向けた取り組み  
⇒忘年会や焼肉会等を企画し、従業員同士が交流できる場を設ける。

## ③従業員の心と身体の健康づくりに向けた具体的対策

- ・運動機会の増進に向けた取り組み  
⇒ボウリング大会や、年に数回スポレクを計画し、運動できる機会を提供する。  
本社別館に卓球台を設置し、気軽に運動できる場所を提供する。

## ・ストレスゼロに向けた取り組み

- ⇒リフレッシュルームを設置し、職員同士が気軽に会話できる場を設けてストレス解消を図る。  
リラクゼーションスペースとして屋上を開放し、気分転換を図る。

## ・ライフワークバランスの確保に向けた取り組み

- ⇒有給休暇を取得しやすい職場環境を整え、従業員の健康と生活に配慮する。

## ・熱中症予防対策

- ⇒熱中飴とスポーツドリンクの設置・ファン付ベストや瞬間冷却材の活用により、熱中症の発生を未然に防ぐ。

## ・受動喫煙対策

- ⇒社屋内は全面禁煙、所定場所以外での喫煙禁止を徹底する。

## ・従業員の感染症予防に向けた取り組み

- ⇒全従業員に対して、年1回インフルエンザワクチン接種を会社負担で実施。

## ・不調者への対応に対する取り組み

- ⇒メンタル不調の予兆がある場合は、業務軽減や休職などの対策を検討する。  
発熱などの症状がある場合は、当日から出社を禁止。  
経過観察し、部門長の許可がでるまで自宅待機。

## ・長時間労働者への対応に向けた取り組み

- ⇒長時間労働者(残業42h/月を超える者)への対応策として、部門長に対して経営管理部から指導を実施。

株式会社イーエス総合研究所  
代表取締役 伊藤 幸一